

● ヤゴ (トンボの幼虫)

トンボの幼虫「ヤゴ」も水辺でよく見られる。種によって、川や水田・池などと、生息する水辺環境が異なり、また、卵で冬越しする種や、ヤゴの状態数年冬を越す種もある。(トンボは p.132 ~ 133 に掲載)



オニヤンマのヤゴ

オニヤンマ科 体長 48mm
全体に細かい毛があり、ざらざらした感じ。
湧き水がある清流に棲む。



シオカラトンボのヤゴ

トンボ科 体長 21mm
全身に細かな毛があり、泥やゴミがつくので他のヤゴと区別できる。



ギンヤンマのヤゴ

ヤンマ科 体長 50mm
淡褐色または緑がかった色で、長く太い胴体が特徴。



サナエトンボの仲間のヤゴの抜け殻

サナエトンボの仲間のヤゴ

サナエトンボ科 体長 27mm くらい
この型のヤゴはたまに見つかる。成虫はまれ。市内ではホンサナエが見つかった。



コオニヤンマのヤゴ

サナエトンボ科
体長 40mm
木の葉のような扁平な体に、マッチ棒の先のような触覚がついている。

コオニヤンマ
体長 80 ~ 90mm